

AMDの系譜を継ぐ最新GPUを大紹介だ!

ASCII

# 週刊アスキー

PR版

Not for Sale

『Radeon RX 7900 GRE』はココがスゴイ!!

Radeonがゲームに強いワケは?

アキバで今すぐ買える!

キミに合うRadeonはコレだ!

AMD

画像生成AIが高速化  
最新ゲームが  
高解像度で  
楽しめる

AMD  
Radeon  
RX 7900 GRE



# 『Radeon RX 7900 GRE』はココがスゴイ!!



AMDの最新GPU「Radeon RX 7900 GRE」がついに国内発売された。画像生成AIの扱いやすさがポイントとなっており、ゲームもWQHD解像度かつ高画質で滑らかにプレイできるのだ。

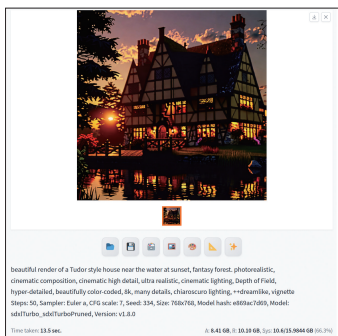
- AMD
- 予想実売価格 10万円前後
- <https://www.amd.com/ja/products/graphics/amd-radeon-rx-7900-gre>

画像生成AIが使いやすい!

「Radeon RX 7900 GRE」は、ハイエンドGPU「Radeon RX 7900 XT」と「Radeon RX 7800 XT」の間に位置付けられるGPUで、「RDNA 3」アーキテクチャーをベースに、メモリーバス幅256ビット、ビデオメモリー16GBという構成を採用。AI処理向けアクセラレーターを160基搭載しており、『Stable Diffusion』など画像生成AIを利用しやすくなっている。Stable Diffusionの場合GPUのビデオメモリーが12GB以上必要とされており、この点でもRX 7900 GREが高いスペックを備えていることがわかる。GPUをAIなどで活用するための開発キット「ROCm」がRX 7900 GREとLinux用ROCmを使って、Stable Diffusionで画像を生成したところ、画像1枚あたり13.5秒で生成できた。あくまで参考値だが、この結果なら試したくなるはずだ。

## 画像生成AIでテストしてみた

←RX 7900 GREとLinux用ROCmを使って、Stable Diffusionで画像を生成したところ、画像1枚あたり13.5秒で生成できた。あくまで参考値だが、この結果なら試したくなるはずだ。



beautiful render of a Tudor style house near the water at sunset, fantasy forest, photorealistic, cinematic composition, cinematic high detail, ultra realistic, cinematic lighting, depth of field, hyper-detailed, beautifully color-coded, 8k, many details, character lighting, --dreamlike, vignette  
Steps: 50, Sampler: Euler a, CFG scale: 7, Seed: 254, Size: 512x768, Model hash: w88tact199, Model: sd1Turbo\_sdx1TurboTrained, Version: v1.0.0  
Time taken: 13.54s  
A. 8.41 GB, 0.33 GB, Sp: 10.633 GB, 0.00 GB

## 「AMD Radeon RX 7900 GRE」スペック

アーキテクチャー	RDNA 3
製造プロセス	TSMC 5nm+6nm
CU数	80基
SP数	5120基
Ray Accelerator数	80基
AI Accelerator数	160基
ROP数	160基
テクスチャーユニット数	320基
ゲームクロック	1880MHz
ブーストクロック	2245MHz
メモリーデータレート	18Gbps
搭載メモリー	GDDR6 16GB
メモリーバス幅	256bit
Infinity Cache	64MB
PCI-Express	Gen4×16
TBP/Borad Power	260W
補助電源コネクタ	8ピン×2

「Cm」がRX 7900 GREに対応した点もメリットだ。WQHD解像度で高画質・高速動作  
AMDは、ゲームが快適に遊べる点というでも抜かりない。RX 7900 GREでは、WQHD(2560×1440ドット)解像度において、高画質かつ高いフレームレートでプレイできる。左のページにまとめたようにAMD独自の超解像技術や、ラグを減らし画面の応答性を高める技術を手軽に利用できるようにしているからだ。

## 『ROCm』とは?

ROCmは、AIや画像以外の汎用目的でGPUを利用するGPGPU向けのSDK(ソフトウェア開発キット)。オープンソースソフトウェアとして開発が進められており、WindowsやLinux上で利用できる。Linux用のバージョン6.0.2ではRX 7900 GREにも対応しており、よりリーズナブルに画像生成AIをはじめとしたAIのパワーを活用しやすくなったといえるだろう。

# ゲームに強いワケ

# Radeonが

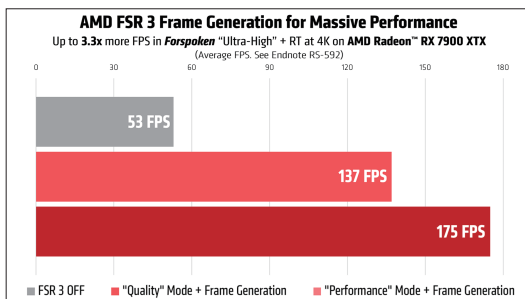
## 基本性能の高さや独自技術の「FSR3」「AFMF」に注目

強いワケ  
**1**

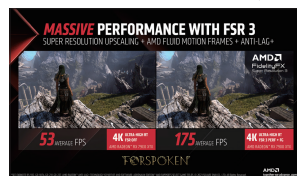
### フレームレートと画質向上の技術が満載

AMDは従来からゲームプレイの快適さを追求していることからRadeonの基本性能は高く、初期設定（ラスタライズ処理）では同クラスの競合製品を超越するようになった。しかも「RX 5000」以降なら、超解像技術「RSR」(Radeon Super Resolution)を利用できる。ゲーム側の対応なしで、画質やフレームレートを向上させる機能だ。最新の技術では、DirectX 11/12対応ゲームならOKという「AFMF」(AMD Fluid Motion Frames)に注目。これは、ゲーム映像のフレーム間にGPUが生成したフレームを挿入し、フレームレートを向上させる。またゲーム側の対応が必要だが、最新の「FSR 3」(FidelityFX Super Resolution)では、描画フレーム間の補完とともに、ラグを感じないよう画面表示の応答性を改善するのだ。

### FSR 3では5種類のモードを設定可能



### 画質とのバランス優先の設定も



←フレームレート向上を優先したり、画質とのバランスを優先したりなど、好みに合うモードを自由に設定できる。

←FSR 3のモードは5種類。「ウルトラパフォーマンス」「パフォーマンス」「バランス」「クオリティ」「Native AA」があり、フレームレートや画質が向上する。

## 複数の高速化機能を一括で有効化する「HYPR-RX」

強いワケ  
**2**

### 1クリックだけで自動的に有効化

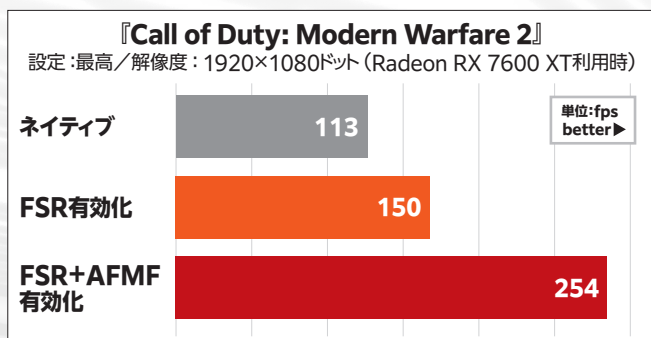
「HYPR-RX」とは、Radeonの管理ユーティリティソフト「AMD Software: Adrenaline Edition」上で稲妻アイコンをクリックするだけで、インストール済みのゲームごとにさまざまな独自機能を一括で有効化するというもの。システムのタイムラグを減らす「Anti-Lag」、フレームレートを向上させる「Radeon Boost」、超解像技術のRSR、AFMF、描画フレームを補間するFSR 3などがまとめてオンになる。個別の機能の詳細が分からなくても、ゲームが対応している機能が自動で有効になるのだ。

例えばAFMFの対応条件は左図の通りで、すでに数千ものゲームがHYPR-RXで手軽に有効化できる。手持ちのゲー

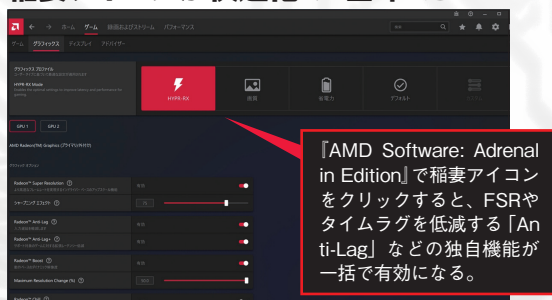
### 数千種類のゲームがAFMFに対応!

#### ゲームのAFMF対応条件

DirectX 11 対応	DirectX 12 対応	フルスクリーンモード
RX 7000 シリーズ	RX 6000 シリーズ	700Mシリーズ (CPU内蔵)



### 稲妻アイコンが快適化の“目印”だ

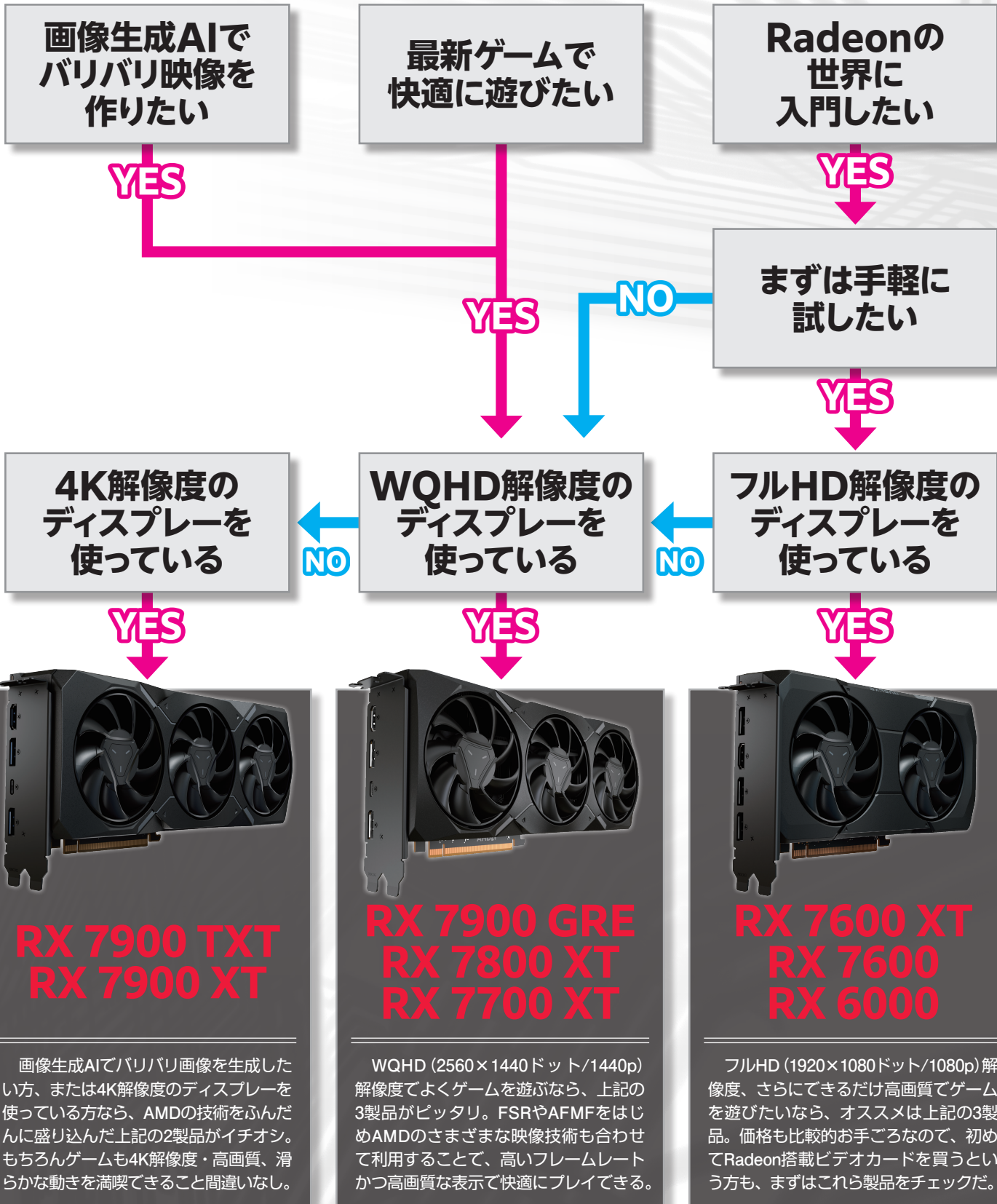


ムが条件に当てはまるなら実際に試してみたり、ゲームを購入する際に参考にしたりしてほしい。過去に遊んだものでも改めてハマるかもしれないぞ。



今まさにビデオカードがほしいなら、このチャートをチェック! どのRadeon製品が自分にピッタリなのか分かるのだ。アキバのショップですぐに買えるぞ。

# Radeonはコレだ!



**RX 7900 TXT**  
**RX 7900 XT**

画像生成AIでバリバリ画像を生成したい方、または4K解像度のディスプレイを使っている方なら、AMDの技術をふんだんに盛り込んだ上記の2製品がイチオシ。もちろんゲームも4K解像度・高画質、滑らかな動きを満喫できること間違いなし。

**RX 7900 GRE**  
**RX 7800 XT**  
**RX 7700 XT**

WQHD (2560×1440ドット/1440p) 解像度でよくゲームを遊ぶなら、上記の3製品がピッタリ。FSRやAFMFをはじめAMDのさまざまな映像技術も合わせて利用することで、高いフレームレートかつ高画質な表示で快適にプレイできる。

**RX 7600 XT**  
**RX 7600**  
**RX 6000**

フルHD (1920×1080ドット/1080p) 解像度、さらにできるだけ高画質でゲームを遊びたいなら、オススメは上記の3製品。価格も比較的手ごろなので、初めてRadeon搭載ビデオカードを買うという方も、まずはこれら製品をチェックだ。